

# 救急医療情報キットとは

六郷地区まちづくり協議会

このたび、六郷地区まちづくり協議会では、民生児童委員のご協力をいただき、上記の「救急医療情報キット」を、配布する運動を始めました。この資料は、「救急医療情報キット」をはじめて利用される方のために、その利用方法を説明するものです。



## 万が一の場合……

ご家庭などで、急病やけがで倒れるなどの万が一の場合、私たちは救急車の出動をお願いします。平成25年の菊川市の場合……

六郷地区では **281 回の救急車出動**が行われました。市全体では 1403 回です。そしてそのうち、**61%が60代以上の高齢者**です。救急車は出動要請があると平均8分で現場に到着していますが、病院に収容されるまでは、33分かかっています。ではこの**時間差 25分**(現場から病院までの時間)はなぜなのでしょう。一刻も早く病院にお届けしたいのに……。

## 救急車はすぐに病院に向かうことが出来ない!!

救急車が現場に到着すると救急隊員は、かならず患者さんの「お名前や年齢、かかりつけ病院や持病の有無、保険証番号、つかっている薬」などの、その人にとってもっとも適切な「救急医療を行うための必要最低限の情報」を伺います。そして、気が動転したり、混乱している現場では、その確認に予想外の時間がかかり、貴重な時間をつかってしまうことがあるのです。

## 「救急医療情報キットはそのために考えられました」

救急医療情報キットは次の部品からなっています。

- ①玄関裏側にはるステッカー……このステッカーをみて救急隊員に「この家には救急医療情報キットがある」ということを知らせます。
- ②冷蔵庫ドアにはるシール……「救急医療情報はこの冷蔵庫のドアポケットにはいつている」ということを知らせます。夜間の停電を配慮して夜光シールになっています。  
なぜ冷蔵庫かというと、どこのご家庭にもあって、地震などではこわれないもっとも強固な入れ物であり、他の人が見るのが少ない場所だからです。
- ③救急医療情報……冷蔵庫ドアの裏側ポケットに入れる専用のケースの中に、必要な情報が記入された「救急情報用紙」や、そのほか必要なものを入れておきます。救急隊はこのケースの中を見ると、必要な医療情報をすぐに知ることができるようになっています。

このようなやり方は全国共通になっており、消防署も了解しています。

### **あつてはならない万が一ですが……**

東南海地震などの防災上の問題や、高齢化社会の到来などいろいろの問題が今の社会にはうずまいています。ぜひ、このキットを用意することによって安全で安心できる暮らしをみんなで作りだしていきましょう。

**お願い** ※この説明資料をご家族でぜひ一度目を通しておいてください。

※キットを使いはじめたあとで、救急情報用紙の内容が変わったら、すぐに修正しましょう。修正しておかないといざという時役に立たなくなります。

**救急医療情報キットについてのお問い合わせ先は、各地区センターへ**



## 救急医療情報キットとは？

救急・けがなどの緊急時に本人が症状説明できない場合、あらかじめ冷蔵庫内に備え付けたキットの情報をもとに、適切で迅速な救急医療を行います。

